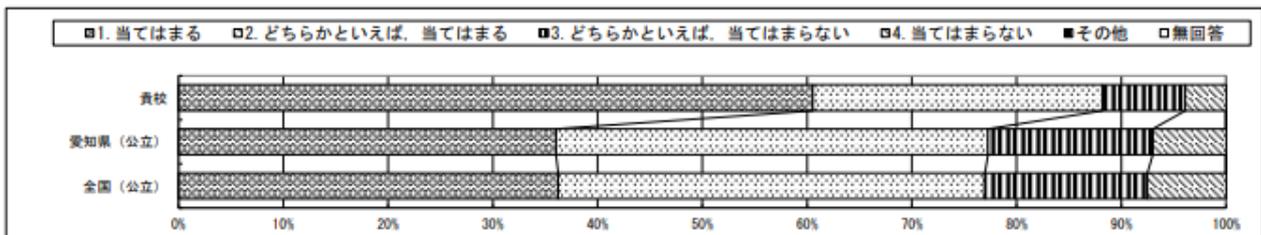


令和3年度 学校だより 臨時号	名古屋市立矢田小学校 〒461-0048 名古屋市東区矢田南4-4-1 TEL 052-721-2508 (電話・来校者対応時間 平日7:45~18:00) https://www.nagoya-c.ed.jp/school/yada-e/
 学校と家庭、地域をつなぐ 矢田だより	
発行日 令和3年9月21日(火)	

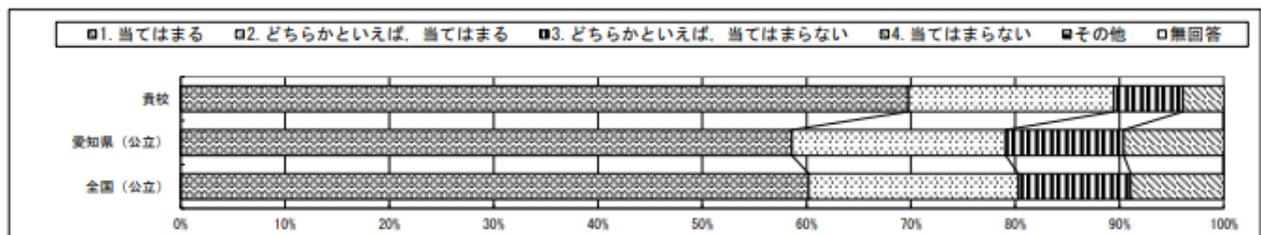
全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします

5月に、6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果が出ました。本校の調査結果について、傾向と分析内容についてお知らせします。なお、質問が多岐に渡るため、愛知県（公立）や全国（公立）の小学校と比較して、顕著な差が見られた結果について抽出してお知らせします。

質問1	自分には、よいところがあると思いますか。			
選択肢	1	2	3	4
矢田小	60.5	27.6	7.9	3.9
愛知県（公立）	36.0	41.2	15.7	7.0
全国（公立）	36.2	40.7	15.5	7.5



質問2	将来の夢や目標を持っていますか。			
選択肢	1	2	3	4
矢田小	69.7	19.7	6.6	3.9
愛知県（公立）	58.6	20.5	11.3	9.6
全国（公立）	60.2	20.1	10.8	8.9



【傾向と分析 その1】

本校は、平成30年度より、名古屋市の「子どもライフキャリアサポートモデル事業」のモデル校として、「自分大すぎ、友達大すぎ、未来の自分はもっとすぎ」というテーマの下、様々な取り組みを進めています。具体的には、本校に常駐するキャリアナビゲーターが中心となり、各学級への出前授業の実施や探究的な学びをコーディネートして、子どもたちの自己理解を深めるとともに、自己肯定感を育む取り組みを行っています。また、「ミラとびランド（キャリア教育に関する行事）」などを通して、子どもたちに、将来について考えるための情報や体験のための機会を提供しています。

その結果、質問1「自分には、よいところがありますか。」については、愛知県・全国と比較しても、矢田小学校では「自己肯定感が高い児童の割合が多いこと」が顕著であることが分かりました。また、質問2「将来の夢や目標を持っていますか」についても、大変良好な結果が得られています。

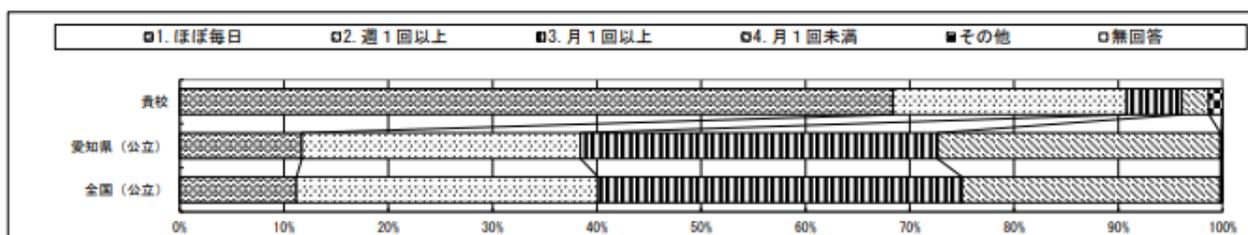
現在、コロナ禍ではありますが、今年度も、十分な感染対策をしたうえで「ミラとびランド2021」を実施できるよう検討中です。詳細については、後日お知らせいたします。

【傾向と分析 その2】

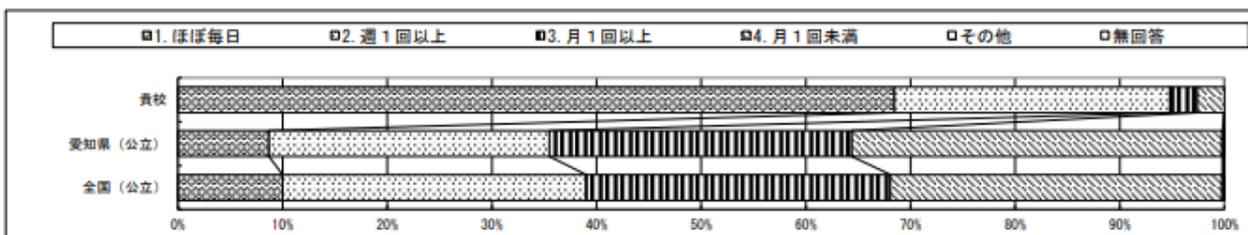
令和元年より、「個別最適化された学びを提供する授業改善の推進」モデル実践校として、日本PBL研究所のサポートを受けながら、タブレットPCを効果的に活用し、子ども主体の個別最適化された学びの実現を目指しています。

まず、タブレットPCを、筆箱やノートのように文具として扱うことができるよう、学校生活の様々な場面で活用してきました。その結果、子どもたちの実態や意識には、次のような傾向が見られるようになりました。

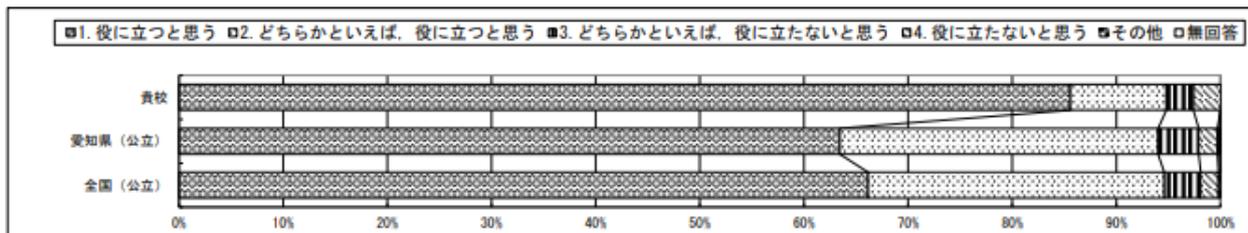
質問3	5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。			
選択肢	1	2	3	4
矢田小	68.4	22.4	5.3	2.6
愛知県（公立）	11.7	26.7	34.2	27.1
全国（公立）	11.2	28.9	34.9	24.8



質問4	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。			
選択肢	1	2	3	4
矢田小	68.4	26.3	2.6	2.6
愛知県（公立）	8.7	26.8	28.9	35.4
全国（公立）	10.0	29.0	29.1	31.7



質問5	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。			
選択肢	1	2	3	4
矢田小	85.5	9.2	2.6	2.6
愛知県（公立）	63.5	30.6	3.9	1.8
全国（公立）	66.1	28.4	3.5	1.7



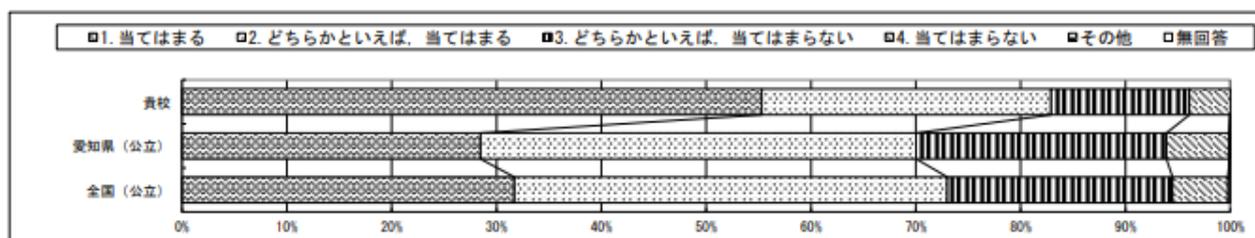
矢田小学校ではタブレットPCの授業場面での活用が十分に図られており、多くの子どもたちにとって「タブレットPCは役に立つもの」という意識が定着していることが分かります。

【傾向と分析 その3】

子ども主体の個別最適化された学びの実現を目指し、特に生活科及び総合的な学習の時間においては、PBL（Project based learning）の考えを生かしたプロジェクト型学習の過程を重視して、「探究的な学び」を進めています。具体的には、「ふれる」→「問いとゴールの設定」→「企画書作成」→「探究活動」→「振り返り」→「発表」の流れで進めますが、学年の発達段階に合わせて、そのサイクルを短くしたり、繰り返したりしています。その結果、質問6では、他校と比較して、子どもたちの意識に大きな違いが生まれたと考えられます。



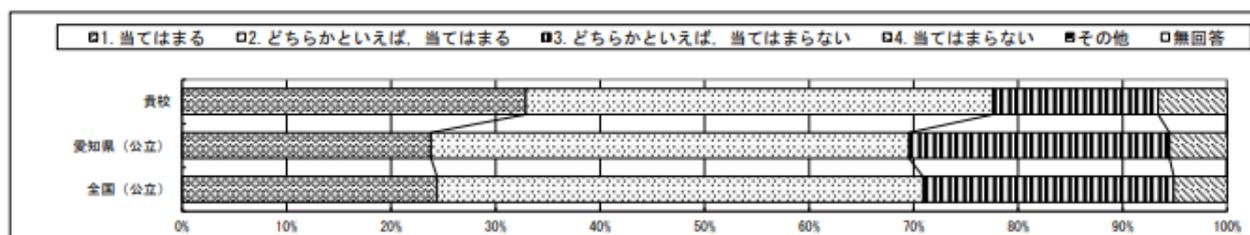
質問6	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。			
選択肢	1	2	3	4
矢田小	55.3	27.6	13.2	3.9
愛知県（公立）	28.5	41.6	23.9	6.0
全国（公立）	31.7	41.3	21.5	5.3



また、「探究的な学び」を進める際には、子どもの主体性が育つように、教師はファシリテーターとして、子どもの学びに伴走することを心掛けています。具体的には、思いや考えを尊重し、子ども自身が「自分で考え、選択し、判断し、決定すること」ができるように支援しています。その結果、子どもたちに「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する」という意識が高まってきており、質問7では、以下のような結果が得られたと捉えています。

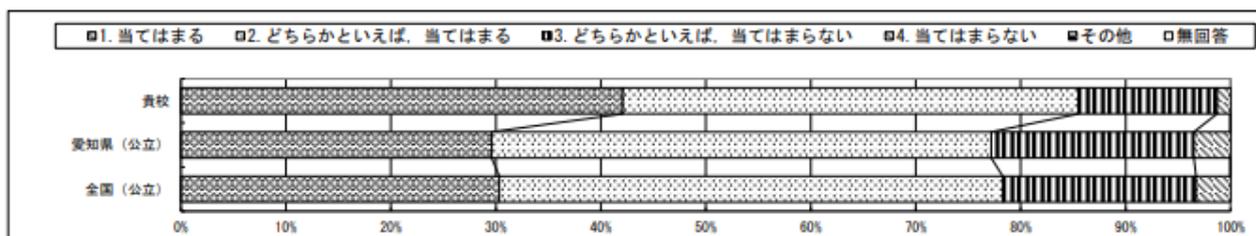


質問7	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか			
選択肢	1	2	3	4
矢田小	32.9	44.7	15.8	6.6
愛知県（公立）	23.8	45.7	24.9	5.5
全国（公立）	24.4	46.5	24.0	5.1



さらに、生活科や総合的な学習の時間に限らず、他教科の学習や学校行事、日常の生活など様々な場面においても、子どもの主体性を尊重しながら、活動を進めています。そのため、前述の総合的な学習の時間以外の時間においても、子どもの主体性が育っていることが、質問8の回答からも分かりました。

質問8	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。			
選択肢	1	2	3	4
矢田小	42.1	43.4	13.2	1.3
愛知県(公立)	29.6	47.6	19.3	3.5
全国(公立)	30.3	47.9	18.4	3.3

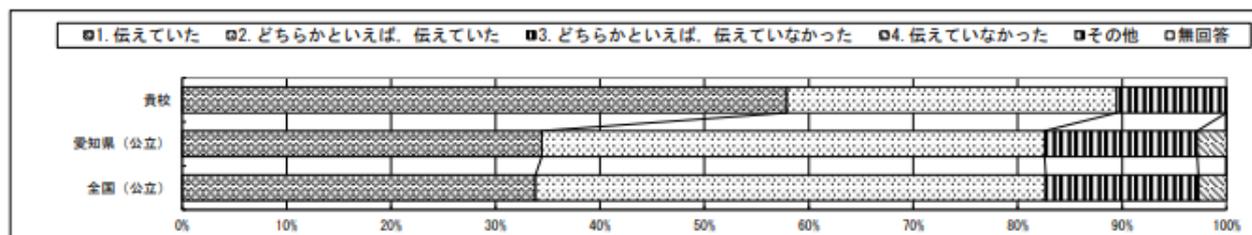


【傾向と分析 その4】

「個別最適化された学びを提供する授業改善の推進」モデル事業では、学びの「個別化」「協同化」「プロジェクト化」の三つの視点を大切にしています。「協同化」については、子ども同士で対話をしたり、タブレットPCを使って情報を共有したりする活動を、積極的に取り入れています。「個別化」により一人一人の思いや考え、学びの方法やペースを大切にすると同時に、「協同化」により、子ども同士のゆるやかなつながりの中で、「協力すること」や「学び合うこと」の大切さ、「自分たちで解決した」という充実感や満足感を実感してほしいと考えているからです。学びの「協同化」を進めることにより、質問9～12のような実態が明らかになってきました。



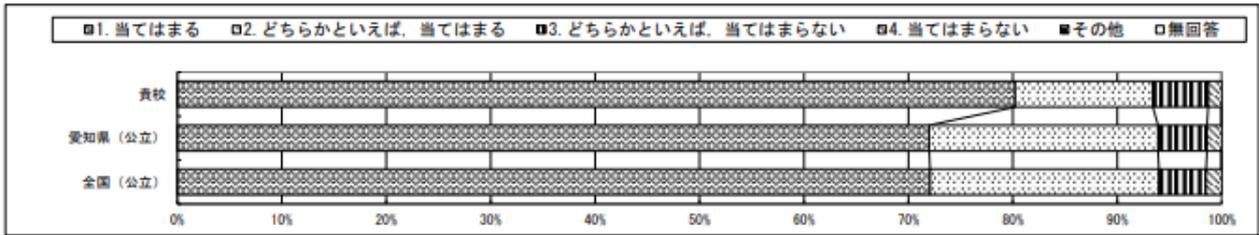
質問9	5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか。			
選択肢	1	2	3	4
矢田小	57.9	31.6	10.5	0.0
愛知県(公立)	34.4	48.1	14.6	2.8
全国(公立)	33.8	48.8	14.6	2.7



質問9は、友達と話し合う活動についての問いとなっていますが、学びの「協同化」により、子どもたちは、協同することにより、自分の考えがより深まったり、新たな考えに更新されたりすることにつながることを実感するようになりました。

すると、協同することに意義を感じるようになり、質問10の回答の通り、子どもたちは友達と協力しながら活動することに楽しみを見出すようになりました。

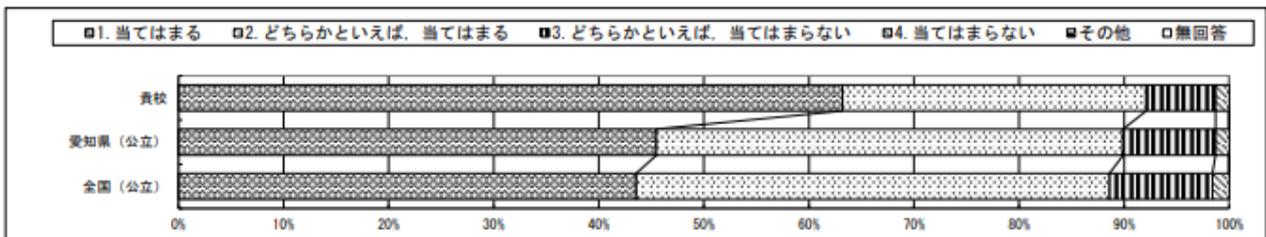
質問10	友達と協力するのは楽しいと思いますか。			
選択肢	1	2	3	4
矢田小	80.3	13.2	5.3	1.3
愛知県(公立)	72.0	21.9	4.7	1.4
全国(公立)	72.0	21.9	4.5	1.5



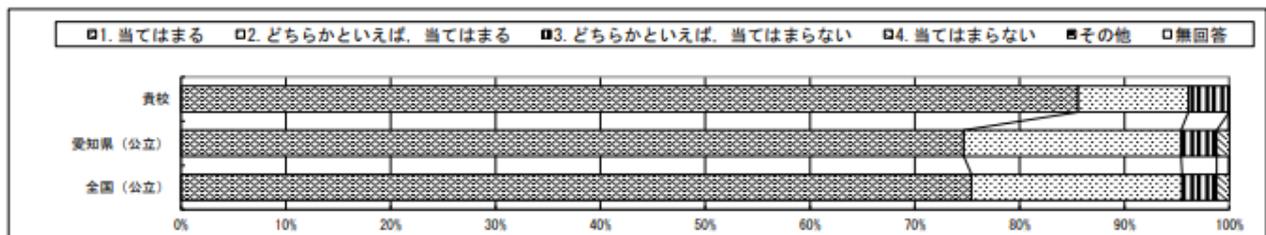
さらに、様々な場面で、協力しながら課題を解決する活動を繰り返してきた子どもたちは、「知恵を出し合うことで難しい課題も解決できる」「一人ではできないことも協力することで大きな力を生み出すことができる」と「協同のよさ」を体感的に理解しています。学びの「協同化」によって、他者へ関わり方について考えることができるようになったことが、質問11や質問12に見られるような回答につながったと考えられます。



質問11	人が困っているときは、進んで助けていますか。			
選択肢	1	2	3	4
矢田小	63.2	28.9	6.6	1.3
愛知県(公立)	45.5	44.4	8.8	1.3
全国(公立)	43.6	45.1	9.8	1.6



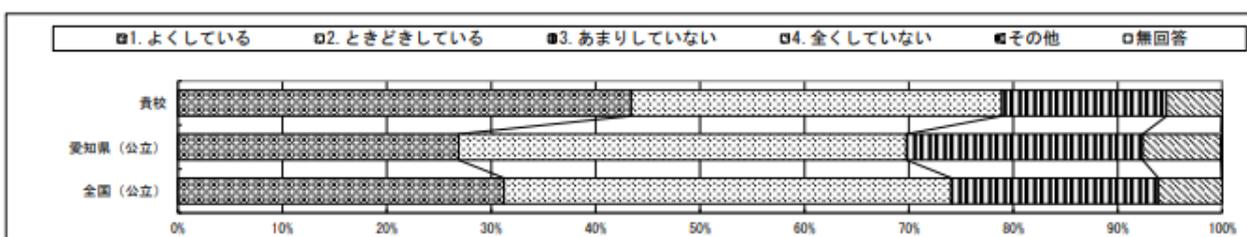
質問12	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。			
選択肢	1	2	3	4
矢田小	85.5	10.5	3.9	0.0
愛知県(公立)	74.6	20.7	3.4	1.2
全国(公立)	75.4	20.1	3.3	1.2



【傾向と分析 その5】

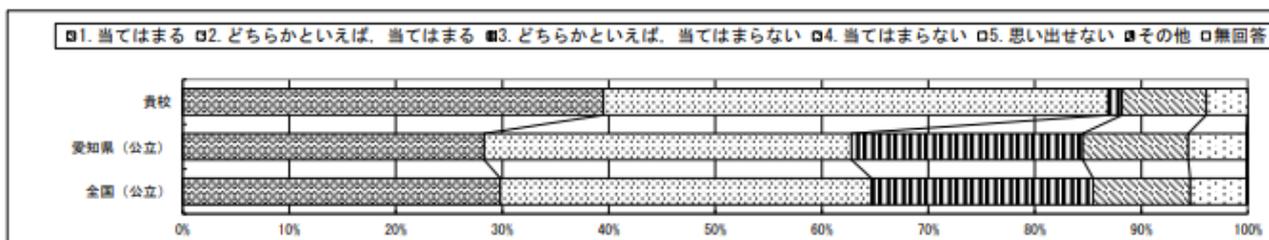
「そもそも、子どもたちに一律に課す宿題は子どもたちの主体性を奪っていないか？」という考えを基に、高学年を中心に、「宿題の内容や進め方を自分で計画して進める」という取り組みを行っています。担任の先生からは、「テスト前に計画的に勉強をする子どもが増えた。」「自分で決めているので、忘れる子どもが減った。」などの声が上がっています。また、その成果が、質問13の回答にも表れています。

質問13	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。 (学校の授業の予習や復習を含む)			
選択肢	1	2	3	4
矢田小	43.4	35.5	15.8	5.3
愛知県(公立)	26.9	42.9	22.6	7.5
全国(公立)	31.2	42.8	19.8	6.1



質問14では、子どもたちに「臨時休業中の家庭学習の様子について」尋ねていますが、他校に比べ、計画的に取り組むことができた子どもの割合が高いことが分かります。宿題に限らず、学校生活の様々な場面で、子どもの主体性を育てるために、「自分で考え、選択し、判断し、決定すること」を大切にしてきた結果が表れていることが分かりました。

質問14	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。				
選択肢	1	2	3	4	5
矢田小	39.5	47.4	1.3	7.9	3.9
愛知県(公立)	28.3	34.5	21.7	9.9	5.5
全国(公立)	29.8	34.8	20.8	9.1	5.3



いずれにしても、このような良好な結果が得られたのは、保護者や地域の皆様の、本校の取り組みに対する深いご理解と、あたたかいご支援・ご協力があったからこそと実感しています。他の項目の分析もしっかりと行い、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。このコロナ禍で、今まで通りの教育活動を行うことは、まだまだ難しいことが予想されます。そのような状況でも、矢田小学校はモデル事業を通して、新たな学びの在り方を模索し、チャレンジしてまいります。今後ともご支援いただきますように、どうぞよろしくお願いいたします。

リニューアルされたホームページはご覧になりましたか？

夏季休業中に、保護者の方の協力をいただき、学校ホームページをリニューアルしました。今回のおたよりもカラーで掲載されています。

「名古屋 矢田小学校」で検索するか、右のQRコードからアクセスしてください。

